

【出題例 1】

地方税法に定められている以下の税金のうち、普通税と目的税の組合せとして正しいものはどれか。
次の①～④から一つ選べ。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 普通税：軽油引取税 | 目的税：都たばこ税 |
| ② 普通税：都市計画税 | 目的税：ゴルフ場利用税 |
| ③ 普通税：自動車税種別割 | 目的税：自動車環境性能割 |
| ④ 普通税：個人事業税 | 目的税：事業所税 |

正答 ④

【出題例 2】

固定資産税に関する記述について、誤っているものはどれか。
次の①～④から一つ選べ。

- ① 固定資産税の税率は、23 区内、東京都内の各市町村とも 100 分の 1.4 である。
- ② 固定資産とは、土地、家屋及び償却資産を総称したものである。
- ③ 固定資産の価格とは、総務大臣が定めた固定資産評価基準に基づいて評価された額を知事又は市町村長が決定し、固定資産課税台帳に登録したものである。
- ④ 土地に係る固定資産税の免税点は、一筆につき 30 万円である。

正答 ④

【出題例 3】

納税証明に関する以下の記述のうち、正しいものを①～④のうちから一つ選べ。

- ① 納税証明書発行の申請は、申請に係る都税を課税した都税事務所でのみ行うことができる。
- ② 都税事務所の窓口において納税証明書発行の申請を行うことができるのは本人に限られ、代理人は申請を行うことができない。
- ③ 相続人が納税証明書発行の申請を行う場合、戸籍謄本及び除籍謄本等により相続人であることが確認される必要がある。
- ④ 郵送による納税証明書発行の申請があった場合、送付先は、納税通知書の送付先に限られる。

正答 ③

※ 都税に関する情報は「ガイドブック都税」などの刊行物をご参照ください。
主税局ホームページにも掲載されています。